

愛道

あいどう



第 113 号

2013年10月1日発行



目次 もくじ

- 3 平成25年足羽福祉会 施設間交流レポート
- 4 ぼくの安全基地
～大人との絆を拠りどころにして広がるところ～ … 足羽東保育園
- 6 日々の頑張りを形にしたい! … 足羽更生園
- 8 地震だ! 火事だ! あなたは何ができますか? … 愛全園
- 10 平成25年度足羽福祉会夏祭り(写真特集)
- 12 園長就任のごあいさつ・継続は力なり
- 13 法人からのお知らせ
- 14 愛のささえ



「表紙について」

“よし! がんばるぞ!”
スポーツ大会での一コマです。青空
の下のこの笑顔♥心身ともにリフ
レッシュできました!

(あすわ就労支援センター

加藤 梓)

施設間交流レポート



5月

折紙交流



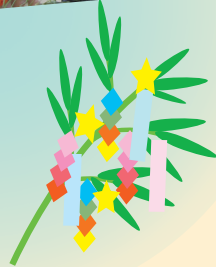
5月

芋苗植え交流



7月

七夕交流



7月

おやつ作り交流



8月

流しそうめん交流



8月

ミュージックケア交流

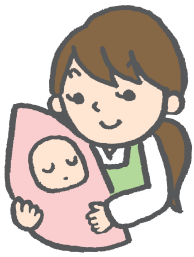


ぼくの安全基地

大人との絆を拠りどころにして広がるこころ

乳児期の子どもの心身の健やかな発達に必要なのは、母親や保育者との愛着の形成による「安全基地」の存在です。愛情あふれる母親や保育者が、温かなまなざしで見守り、また多様なかわりをもつことで、子どもは安心して、周囲の環境に自ら働きかけるようになります。

今回は、保育士との愛着の形成から、しだいに人、物、自然へと興味・関心を広げていく子どもの姿をお伝えします。



保育士との出会い (安全基地の存在)

桜が園庭に咲き始めたころ。0歳児クラスに4名の新入園児が入園してきました。朝、初めて親元を離れたの保育園生活が始まった8か月のAちゃん。母親の抱っこから離れようとせず、泣き叫んでいます。悲しむAちゃんに「お母さんがいいね。大丈夫よ」と温かい心と笑顔でギュッと抱きしめてあげました。…(保育園では私がお母さんの代わりだよ)その日からAちゃんと私の保育園生活が始まりました。

Aちゃんは人見知りが強く、抱っこをしていないと生活できない状況で、おむつ交換や食事、授乳、睡眠も泣いて十分にできないほどでした。言葉の存在にもまだ気づいてはいませんが「おなか空いたのかな?もうすぐご飯だよ。お母さんもうすぐでお

迎えるからね」などと、優しく話しかけ思いに寄り添っていききました。…(まだ保育園生活始まったばかり。無理せず、まずは信頼関係を築いて私がAちゃんの安全基地になろう)そんな毎日の繰り返しの中で、私の顔を見ながら、ふつと泣き止む瞬間がありました。そのとき私はAちゃんに顔を近づけ「ばあつ」と言つてにつこり笑いかけると、私の顔をじつと見つめ確かめるようにして触ってきました。…(毎日一緒にいる私の存在を認めてくれたのかな)一歩ずつAちゃんとの距離が縮まってくのを感じました。

Aちゃんとの信頼関係がつき始めたことで、食事もよく食べるようになり、5月中旬からは一定時間眠り、抱っこからお座りをして、一人で遊ぶ時間も増えてきました。

自然との出会い

(保育士と発見を共感)



園庭に散歩に出かけたときのこと。太陽の光を浴びて眩しそうな表情のAちゃん。そんな表情の中にも自然の匂い、風、鳥や子どもたちのあそび声を全身で感じ取っているように見えました。「気持ちいいね」と声をかけながら、花壇の前に行き「きれいだね」と花を見ると、Aちゃんもじっと見つめ「デイデイ」と花にしきりに手を伸ばし、笑顔でつかもうとしていました。「あかいおはな」とAちゃんと二人笑顔になりました。

友だちとの出会い

(保育士から)

友だちへの関心

お座りをして一人遊びをするAちゃん。そろそろハイハイを促そうと手作りおもちゃを作りました。おもちゃを持つて「おいで」とあやすと、興味を示し、腹ばいで近づこうと奮闘。今度はおもちゃを転がしてみると、腹ばいで二、三步進み、ピタッと止まり私の方を振り向きました。私が笑顔を見せると、安心したように、また二、三步進み、おもちゃに辿りつくと、触わったり、舐めたりとしばらく夢中で遊んでいました。

そこへ、1歳1か月のBちゃんがやってきて、Aちゃんの顔を笑顔でのぞき込みました。一緒に笑顔になるAちゃん。Bちゃんに親しみをもつたようで「あくあく」とハイハイで近寄ります。Bちゃんは歩行で二、三步進み、A



ちゃんの方を振り返ってニコリ。その顔を見たAちゃんはどう一度「あくあく」とハイハイで近寄りました。

そんなやり取りを楽しそうに繰り返していました。：(追いかけてっこしているみたい。私の存在だけでなく、友だちにも関心を向けるようになったんだな)二人のやり取りはとても微笑ましく、Aちゃんの成長をうれしく感じる出来事でした。日々、Aちゃんの成長を喜

びながら保育をして3か月が経ったころ。朝、母親との別れの際「Aちゃんおはよう」と笑顔で両手を差し出すと、母親から離れ私の腕の中に来てくれました。そして、母親がバイバイを言う前に、バイバイと手を振りました。その姿をみて、Aちゃんにとって

保育園が第二の生活の場となり、安全基地

となったことが実感でき、人と人の絆の尊さを知ることができました。



年長組のお姉ちゃんに遊んでもらって

乳児期は

生きる力の土台創り

「甘えはどこまでを受け止めてらいいの?」「抱っこばかりしていると抱っこ癖がつく」とのご相談がありますが、この時期に身近な大人に、甘えを受け入れてもらったり、抱っこしてもらったり、要求に応じてもらえた安心や喜びの経験は、その子の心の拠りどころとなり、あらゆるものへの興味や関心、好奇心を広げるものとなります。それは新しい世界を発見することにつながり、子ども自身の学びとなり、さらには『自分で考え行動する』という自律にもつながっていきます。人とのかわりが重要な乳児期に、心にたくさんの愛情を蓄積させ、生きる力の土台を創ってあげたいですね。

まずは家庭から、そして保育園も子どもの健やかな成長・発達のために、将来を見据えたかわりを一緒に行っていきたいと思

足羽東保育園

大島直子

日々の頑張りを形にしたい！

足羽更生園では日中活動の一環として、マット編みを行っています。その活動を通して、利用者の方の頑張りを多くの人たちに知っていただきたいという思いから、マット販売会が始まりました。利用者の方自身がお客様と実際にかかわる中で見えてきた新たな表情や思いとは…。奮闘する職員の声も交えてお伝えします。

マット編みって何？

足羽更生園では、利用者の方一人ひとりの能力に合わせてさまざまな作業場で活動をしています。

その中の一つ「マット編み」をご紹介します。



カラフルな紐や花柄などの紐を、うまく組み合わせながら編んでいきます。一本ずつ間違えることなく編んでいくのは、とても細かい作業なので大変です。大変だからこそ、一人ひとりのペースに合わせて取り組み、一枚の作品ができたときには「見てー」「できたー」と、うれしそうに笑う利用者の方を見ることができません。

もっと活動を広めたい！



利用者の方が作られたマットは平成23年度までは、園内や法人内の他施設での行事や、地域のお店に委託をして販売をしてきました。「キレイやね」とうれしい言葉をいただくことができ、喜びを感じることができました。「キレイ・上手」などの言葉をいただけただうれしさと同時に「ご家族だけでなく、足羽更生園を知らないたくさんの人たちにも日ごろの取り組みを知っていただき、利用者の方の頑張りを形にしたい」という思いを職員みんながもつようになりました。



職員の「利用者の方の日々の頑張りを形にしたい」という思いから、平成24年度より「販売会やマット製品の質の向上」を目標に掲げ、販売場所の新規開拓を始めました。

そして、マット編みをされた利用者の方も参加することで、より活動を知っていただけではないかと考えました。

また、お客様に手にとっていただきやすくするために、ラッピングの方法を日中活動以外の職員からの意見も交えながら、キャンディーみたいにアレンジして販売することにしました。

クルッと巻いてみました。どうですか？



利用者の方のクラブ作品と共に。



緊張から喜びへ



担当の工藤支援員が語ったマット販売の思い出の中のエピソードをご紹介します。

知らない人たちの目の前に立つと、誰でも緊張すると思います。それは利用者の方も同じです。販売会へ行き、マットを手を取っていただきたいと思っても、なかなか「いらつしやいませ」の言葉を言えなかったり、緊張から笑顔で立つことができないこともありました。

また、職員も新しい販売場所では会場の雰囲気がつかみにくいため、どんなお客様がいらつしやるのかという不安や緊張でいっぱいです。

しかし、お客様から「上手ですね」と声をかけていただけただけで、緊張していた利用者の方も少しずつ笑顔になり「いらつしやいませ」と大きな声で接客する姿や「どうぞ」とマットを袋に入れる姿を見ることができました。

利用者の方が笑顔で「また行きたい」と話してくれたとき、私も支援者として喜びを感じました。販売会へ参加することを通じて、利用者の方が明日からも頑張ろうと感じたことが伝わってきて本当にうれしかったです。

日々の活動の中でも「またお客様が喜んでくれますよ。頑張りましょうね」と楽しく会話もできるようなりました。

ご家族の方からも「こうやって自分たちで作ったものを他の人が買ってくれる、そんな経験を子どもにさせてもらえて感謝しています」という言葉をいただきました。

自分たちで一生懸命に作ったマットをお客様が手に取り「ありがとう」と買ってくださいることが、一人ひとりの喜びにつながり、また喜んでくださる人たちがいることが、一人ひとりのやる気につながっていると感じました。

みなさんも足羽更生園の利用者の方が心を込めて作ったマットを見に、そして素敵な笑顔に会いに来ませんか？



☆頑張りを形に
これからの夢☆

目標は「利用者の方の頑張りや形にすること」ですが、まだまだと感じています。新たな販売の場を見つけないが、毎日の作業や販売といった取り組みが利用者の方の生きがいとなるよう、みんなで考えながら取り組んでいきたいです。

そして、マット（通称・カラフルマット）が福井県中の人に愛されるものになるといいなと思います。

工藤支援員はこのような夢を語ってくれました。

取り組みはまだ始まったばかりです。日々の活動を頑張る利用者の方、そしてその活動を支え、広めようと頑張る職員に今後も期待していきたいです。



地震だ！ 火事だ！ あなたは何かできますか？

平成25年4月、地震および火災を想定した避難・火災防御・救護処置訓練等を実施（福井循環器病院・福井愛育病院・愛全園）で実施しました。

利用者の方の安全を確保するとともに、その対応の習得と機敏な行動、的確な判断力を体得し、防災の意識を高めることが目的です。

合同防災訓練 までの道のり

今年初め、他県のグループホームの火災時に、施設職員が燃えている建物の中に入ろうとして消防士に止められている場面が、テレビで報道されていました。いざ、その



状況になるとどう動けばいいのだろうか？いろいろな思いが浮かんできました。

そこで、愛全園防災委員で話し合いを行うと「施設内での防災訓練は充実してきた」「東日本大震災の発生状況をかんがみても、近隣の病院、企業との協力体制・連携が必要ではないか」「新館が増設され、改めて防災訓練をすべきだ」という意見があがってきました。

そんなときに、福井市東消防署から『大規模施設の消防管理が厳しくなった今、三施設合同の消防訓練を行えないか』という提案がありました。

大規模災害発生時に、協力しやすい位置関係に三施設はありますが、実際に訓練ができるのかという不安がありました。しかし、消防署の方が間に入るにより実現することができました。

利用者の方へ ついでに

消防署の方から言われた言葉『消防車がくるまでの10分間に初期消火を含め、どれだけ避難誘導ができるかが勝負である』を胸に、地震が発生したことによる火災を想定した避難訓練が新設されたグループホームで開始されました。

火災を発見した職員「居室が火事です」という声や、初期消火を行った職員「大きな声が響きわたり緊迫感が伝わってきました。グループホームの利用者の方も実際に参加して、避難誘導を試みましたが、数名



の利用者の方を誘導するだけでも想像以上に時間がかかり、避難の難しさを実感することができました。100名以上の方を避難誘導することによってどれだけの時間がかかるのか、どう動けばよいかの課題がみえてきました。その課題をふまえて、施設全体の避難訓練に取り組んでいきたいと思えます。



あせらず、かつ安全に避難を・・・

各施設との連携

通報より10分後に消防隊が到着。救助、消火活動と同時に対策本部と応急救護所を設営するという迅速な動きで訓練がすすんでいきます。

救護所にて、次々と救護処置訓練(トリアージ)が行われていきました。救助者は怪我の程度に応じてプレートで色分けされています。そこから託児所の子どもたちは愛育病院へ、他の救助者は福井循環器病院へ医師や看護師により搬送され、病院で処置が行わ

れます。なかでも重症患者は、福井循環器病院の屋上から防災ヘリコプターにて緊急搬送するという、今までの訓練では見られなかった本番さながらの姿を目の当たりにしました。

今回の合同防災訓練を通して、消防署をはじめ福井循環器病院や福井愛育病院といかに連携をとり、災害に備えるか、また連携のとりやすい環境を強みとして、いかに協力体制を構築していくかが今後の課題だと思えます。

〈職員の声〉

☆とても大がかりで緊迫感があり、人の動きが大事だということを実感できました。 合川 志歩

☆職員同士の連携や他の組織の人たちとの協力がとても大切であることを実感しました。 宮本 恵介



煙ただよふなか、消防車が到着!

職員一人ひとりが、防災に関する正しい知識を身につけ日ごろから『備え』を実践し、災害時に何をすべきかについて考える機会となりました。また、利用者の方の命を守るという使命を、改めて意識づけることができました。

今後も利用者の方の視点に立ち、できる限り多くの地域の方と協力連携し、合同防災訓練の実施を通して組織的な災害対応能力の向上に努めていきたいと思えます。

愛全園防災委員 丹羽 則之

祭



7月14日(日)

足羽学園・
足羽更生園



あま〜い!!



7月27日(土)

足羽利生苑・
あすわ就労
支援センター



新入職員による
ダンスパフォーマンス



かくらべは
負けないよ!





平成25年度
足羽福祉会



足羽東保育園

7月20日(土)



年長組による神輿。
カッコよくきました!



わたあめ
おいしいね!



7月20日(土)

愛全園



どうも
ありがとう♪



福井農林高校
郷土芸能部の
迫力ある太鼓演奏



園長就任のごあいさつ

足羽学園・足羽更生園
園長 嶋田 富士男



私は、昭和56年12月に美浜町にある障がい者施設（当時は無認可小規模施設）に入職して以来、福祉

の現場から離れることなく約31年の月日を経て今日に至っております。長いようで短いこの年月の流れの中で、平成25年4月よりご縁をいただき、足羽学園・足羽更生園の園長に就任いたしました。

この間、社会情勢の変化には著しいものがあり、それに伴い障がい者（児）福祉分野においても「施設中心の福祉」から「地域での暮らしを支える福祉サービス」という理念の流れのもと、当事者を主体とした利用契約制度に移り変わりました。

しかしながら、当福祉会ならびに両園はこの流れに乗り遅れることなく、着実に将来を見据えながら地域にしっかりと密着した事業展開

を行っており、この大切な時期に園長を拝命したことに身が引き締まる思いです。

持論ではありますが、支援者は常に感受性を研ぎ澄まし、固定観念にとらわれることなく、あらゆる情報や手法を駆使できる能力、技能を保持することが重要であり、かつ「人間愛」を注げる心がなければ「真の支援」はできないと考えます。まだまだ道半ばではありますが、今後も皆様にご指導をいただきながら我が道を進んでまいります。

末永く、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



継続は力なり

平成25年7月5日、職員研修センターにて「足羽福祉会優秀職員表彰式」が行われました。

永年勤続表彰や特別功績表彰など、総勢54名の職員が高村理事長から表彰状や記念品を受け取りました。

そこで今回、謝辞代表を務めた愛全園の高橋課長に、今日に至る『自身の信念』について尋ねてみました。

「30年以上なんてすごい！」と言われますが、自分には何もない…と悩んでいたところに、先輩から『体力も能力のうち』と励まされたこと、いつも『念ずれば花開く』という言葉が胸に仕事をしてきたことが、これまで勤め続けることができた力となっています。

これからもこの言葉を心にもち続け、多くの人との出会いやかかわりを大事にし、共に喜びあい成長していきたいと想っています。



愛全園 課長
高橋 美和子



各施設長と30年以上勤続被表彰者

〈あすわ就労支援センター〉 H25.6.1 スマイル 開所!!

平成25年6月1日に生活介護事業として「スマイル」が開所しました。

企業からの委託作業やマット製作など意欲的に取り組んでいます。

毎日スマイル(笑顔)で頑張っています!



〈あすわ地域生活支援センター〉 H25.6.1 なごみ 開所!!



平成25年6月1日にケアホーム・グループホーム「なごみ」が開所しました。

ケアホーム7名・グループホーム2名の利用者の方が共同で生活されています。

次号以降で詳しくご紹介します。お楽しみに!

カラフルマット販売のお知らせ

利用者の方が心を込めて作ったマットは、コチラのお店にあります。一度手に取ってみてください。お待ちしております。

●販売場所●

- ・菓心所 菓子の木
(福井市下六条町8-6/☎0776-41-2098)
- ・パン工房 セタロウ
(吉田郡永平寺町松岡御公領502-1
メゾンアスクレピオス1 F/☎0776-61-3756)

愛全園ボランティア募集

愛全園では利用者の方と一緒にお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、お仏壇参りをしたりとささやかなふれあいをしてくださる方を募集しています。

曜日や時間は問いません。1時間程度からでも結構です。介護サポーターポイント制度受け入れ施設です。

詳しくは愛全園 ☎0776-53-5411

ボランティア委員 布川・吉川・坪田まで

イベントボランティア募集



- 【開催日】10/19(土)
- 【時間】AM10:30~PM1:30
- 【場所】福井市東体育館
- 【問合せ】足羽福祉会
法人本部事務局
☎0776-41-3108
✉info@asuwafukushikai.jp

10月19日(土)足羽福祉会の合同レクリエーションが開催されます。ご利用者、ご家族、地域の方300名以上が交流する毎年恒例のイベント。
このイベントのお手伝いをしてくださる方を募集します。
詳しくは左記事務局まで。



愛のささえ

ご協力ありがとうございました

平成25年6月1日から平成25年8月31日までのの方々を掲載させていただきました。

【本部】 (寄付・寄贈)

(株)福井建材社

【足羽東保育園】

(ボランティア・交流・訪問)

鍛田喜与美 上文殊幼稚園 上文殊小学校 上文殊公民館 上文殊駐在所 文珠苑 東郷幼稚園 東郷小学校 文殊幼稚園 文殊小学校 一乗幼稚園

一乗小学校 足羽第二中学校 福井市防災センター 宮川定幸 西口康士 武内春奈 国本大志 西野友唯 藤井宏樹 坊下裕一郎 鶴城寛美 谷野茜

長崎千晶 岩永響平 小林さおり

(研修・実習・見学)

福井県立図書館

【足羽学園・足羽更生園】

(寄付・寄贈)

(株)吉田金属 土牧電機(株)

(ボランティア・交流・訪問)

中谷まゆみ 近藤善勝 法貴のり子 十郎直樹 増永茂 大野志保子 小澤晋 堀忠夫 瀧波裕美 佐々木知亜樹 杉原幸司 片山千代栄 生駒美奈 吉村泉美 辻哲明 五十嵐あゆみ 中林教予 中村紘子 佐野光代 佐野こころ 三好健斗 安井俊介 土肥芽子 武内春奈 徳山裕美

上野孝次 左近衣未 出口菜希 石田千彩 朝倉千絵 嘉部尚恵 黒木涼介 田中亮太 山本菜摘 小林順子 大島典子 伊戸桂子 増田花子

大杉キクエ 竹原喜久美 巢守久仁

子 越野紀子 小林洋美 西尾百合子 三澤那月 多田杏梨 佐々木萌子 三井玲子 小林登代子 竹村勉 (研修・実習・見学)

介護労働安定センター 仁愛女子短期大学 仁愛大学 福井大学 東海医療福祉専門学校 大原スポーツ医療保育福祉専門学校

【あすわ就業支援センター】 あすわ地域生活支援センター

(寄付・寄贈)

(株)福井建材社 (株)窪田プラスチック (株)ワググチ 渡辺冷凍食品(株) マエダセイカ(株) (株)ヒークルーズ

(ボランティア・交流・訪問)

高村智子 松原智子 畑節代 大島早奈子 阪本裕美 ふくい若者サポートステーション 福井市健康づくり婦人会 きもの着付けサークル

(研修・実習・見学)

福井県立福井南特別支援学校 福井県立清水特別支援学校 福井大学教育地域科学部附属特別支援学校 武生工業高等学校 仁愛女子短期大学

【あすわ相談支援センター】 あすわ児童発達支援センター

(ボランティア・交流・訪問)

黒木涼介 源野京子 福井大学よっしゃこい

【愛全園】

(寄付・寄贈)

青柳信男

(ボランティア・交流・訪問)

啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ボランティア 啓蒙民謡クラブ 福井市赤十字奉仕団 小木大正琴クラブ 齋藤さよ子 花亀会 山岡玲子 太田美代子 本多春子 奥村美枝子 中嶋安子 坂本幸子 熊谷三和子 鈴木陽子 石川幹子 山下敏子 山下敬子 中野節子 福井県医療福祉専門学校 福井県立看護専門学校 福井農林高等学校 ギタークラブ

(研修・実習・見学)

福井農林高等学校 福井県警察学校 福井商業高等学校 仁愛大学 日本福祉大学 道守高等学校 福井工大付属福井高等学校 福井県医療福祉専門学校 福井県立看護専門学校

【足羽利生苑】

(寄付・寄贈)

(株)南山堂 飛鳥建設(株) (株)ワググチ

(ボランティア・交流・訪問)

福井市赤十字奉仕団 丸山グループ まーまれーど美容室 宇都宮友美 美容室倶楽部浜田 戸嶋聡美 松宮あさ子 児玉美子 定兼紘美 本田幸雄 梯洋枝 江端茂子 オカリーナポルテ 野坂幸雄 白崎弘 中井昭 土田美加 小野博嗣 山田ますみ 増永美貴 ザインキョース マスターピース ハーモニカなどでしこ

(株)ワググチ 宮浦知恵子 館千恵子 乗竹紘美 美山そは元気の会 福井工大付属福井高等学校 大原スポーツ医療保育福祉専門学校 福井県立

看護専門学校 (研修・実習・見学)

福井県医療福祉専門学校 福井県警察学校 大原スポーツ医療保育福祉専門学校 福井県長寿福祉課 日本福祉大学 順不同・敬称略

編集後記

●0歳児の子もたちの写真撮りながら癒されました。あゝ可愛いく。 大島(保)

●すっかり秋めいてきました。おいしい物食べればかりではなく、運動もするぞー!! 江上(学)

●今号より記事の担当となりました。何とか完成の日を迎えられて、ホッとしています。 平鍋(更)

●今年度より、編集委員になりました。みなさんに楽しく読んでいただけるような「愛道」を目指して頑張ります☆ 加藤(就)

●今年から「愛道」1年生。先輩方に一生懸命習い、よりよいものを作りたいと思います。よろしくお願ひします。 土肥(愛)

●読書の秋！スポーツの秋！食欲の秋！私といえどもっばら食欲の秋でしたが、グイェット奮闘中の今、封印しています(笑) 栗波(愛)

●今秋は「読書」を楽しみます！オススメの本があれば教えてください。 前田(利)

●年4回発行ということになって今回で4号目。四季折々の話題もこれからたくさん盛り込んでいけたらと思っています。 川縁(本)

●7年後に56年ぶりの東京五輪が開催されます。その前に50年ぶりの福井国体が5年後にあります。そんな中、わが体力は減少傾向。来年の区民体育祭に向け、明日から走り込み開始！ 安田(本)

発行所

社会福祉法人 足羽福祉会

〒910-2178 福井市梅野町20-7
TEL(0776)41-3108
FAX(0776)41-3199
http://www.asuwafukushikai.jp/

発行責任者 高村昌裕